

図表 1-2-4 経験者採用者に関する調査結果

質問事項	回答項目	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	合計
1 採用者は、現在の担当職務に有用な経験を有しているか	A いる	72(82%)	34(79%)	37(88%)	35(90%)	45(92%)	223(85.4%)
	B いない	16(18%)	9(21%)	5(12%)	4(10%)	4(8%)	38(14.6%)
有している経験として、「情報処理(SE)能力、社会人としての実務経験、語学力、法律知識、折衝能力、土木技術に関する高度な知識」等が挙げられる。							
2 採用者は、期待したとおりの人材であったか	A その通り	78(89%)	42(98%)	40(96%)	39(100%)	48(98%)	247(94.6%)
	B そうでもない	10(11%)	1(2%)	1(2%)	0(0%)	1(2%)	13(5.0%)
	C 期待に反した	0(0%)	0(0%)	1(2%)	0(0%)	0(0%)	1(0.4%)
そうでもない理由として、「積極性が表に出ない、コスト意識が身についていない」、期待に反した理由として、「即戦力としての期待に反した」等が挙げられる。							
3 採用時の職級について(現行は2級職採用)	A 適切である	68(77%)	26(74%)	31(82%)	28(76%)	34(69%)	187(75.7%)
	B 級を変更すべき	20(23%)	9(26%)	7(18%)	9(24%)	15(31%)	60(24.3%)
級を変更すべき理由として、「3級職採用または主任級職、係長級職採用があってもよい。本人の経験・能力・資格を考慮して決定すべき。良い人材の確保にはそれなりの処遇が必要」等が挙げられる。							

(注)平成 6年度から平成 11年度までの経験者採用者について、所属課長に対して年度ごとに調査を実施した。

なお平成 6年度採用者は、平成 7年度採用者とあわせて調査を実施した。